

### (3) アンテナショップカフェの検討状況について

アンテナショップカフェについては、産業界、労働界、高等教育機関、障がい者就労支援事業所、障がい者就業・生活支援センター、特別支援学校、庁内関係各課などのメンバーで昨年12月以降、6回の検討会を行っており、障がい者雇用に関するデータ分析により明らかになったこと、障がい者を支える現場や企業訪問等を通じていただいたご意見等をふまえ、具体的な検討を進めています。

#### 1. 障がい者雇用に関するデータ分析により明らかになったこと

##### (1) 県内民間企業等における「障がい者雇用状況」について

平成25年11月19日、三重労働局より公表された、平成25年6月1日現在の「県内の民間企業などにおける『障がい者雇用状況』の集計結果」のデータ分析において明らかになったことについて、アンテナショップカフェの取組は、次の視点から効果的な取組であると考えています。

- ① 接客、調理、清掃など、障がい者が働いていくために必要な能力を身に着ける作業が詰まったアンテナショップカフェは、本県の強みである「飲食・宿泊業」、「医療・福祉業」などへの就労をさらに伸ばし、「サービス業」、「金融・保険業」など障がい者雇用が進んでいない業種への就労につながる効果が期待できる。
- ② 障がい者の就労を推進する取組（鈴鹿地域の「就労マルシェ」、松阪地域の「障がい者雇用支援フォーラム」等）を行っている地域においては、関係者間で地域内の課題が共有され、連携した就労支援が行われることなどにより地域の雇用につながっていることから、アンテナショップカフェを常設することで、同様の取組が促進され、障がい者雇用の推進につながることを期待できる。

##### (2) 「障がい者雇用実態調査」について

平成25年5月に実施した県内約14,000事業所を対象に実施した「三重県障がい者雇用実態調査」のデータ分析において明らかになったことについて、アンテナショップカフェの取組は、次の視点から効果的な取組であると考えています。

- ① 「三重県障がい者雇用実態調査」において、障がい者を雇用している企業は6社に1社の割合であるという現状をふまえると、アンテナショップカフェを通じての情報発信やネットワークづくりなど、障がい者雇用を推進する取組全体の底上げが必要である。
- ② 「今後、障がい者雇用を推進するために必要な取組」として、4社に1社の割合で、「障がい者雇用についての事業主や従業員の理解促進」、「取引先の理解」が必要であると回答していることから、アンテナショップカフェを通じて、「障がい者が戦力になる」ことを発信することが重要である。

- ③ 従業員規模の大きい企業における障がい者雇用は、十分に進んでいないものの、雇用拡大のポテンシャルはあることから、ターゲットを絞りアプローチしていくことが重要である。
- ④ 障がい者雇用に積極的に取り組んでいる企業の取組をアンテナショップカフェで顕彰するなど好事例として発信するとともに、企業間のネットワークづくりなどに取り組むことが重要である。

## 2. 障がい者を支える現場からいただいたご意見

障がい者雇用を推進するために必要な取組について、障がい者を支える現場等へのヒアリングにおいていただいたご意見をふまえ、アンテナショップカフェの検討を進めています。

### (1) 「障がい者の実践の場」の重要性

- ① 緊張感のある実践的な実習により、障がい者の眼の色が変わってくる。
- ② カフェには、障がい者の就労につながる、袋詰め、皿洗い、計量など多様な作業がある。
- ③ 就労に向けてステップアップできる実践の場により、働く意欲をかき立て、自信を得ることで、就労に向けての貴重な経験となる。

### (2) 「授産品が売れること」の重要性

- ① 障がい者が作ったものを売ったり展示したりするチャレンジの場が欲しい。
- ② 障がい者就労支援事業所等においては、商品の販路拡大等に係る人材が不足していたり、商品開発のノウハウが十分でないことから、このような視点での支援が必要である。
- ③ 地域の資源を活用した商品づくりなどにより、（障がい者が）地域の担い手となることが、地域における障がい者雇用の理解につながる。

### (3) 「企業と障がい者訓練の場をつなぐ」ことの重要性

- ① 障がい者の就労には準備の時間が必要。カフェでの多様な経験により作業性や社会性が向上することで、企業への就労や定着につながる。
- ② 企業と障がい者をつなぐ中間支援の場があることで、企業が安心して障がい者雇用に取り組むことができる。

## 3. 企業訪問からいただいているご意見

障がい者雇用を推進するために必要な取組について、企業等へのヒアリングにおいていただいたご意見をふまえ、アンテナショップカフェの検討を進めています。

- ① 障がい者雇用を推進する取組を、県民や企業など多様な主体で考える場づくり、しくみづくりが必要である。
- ② 雇用する側の企業、雇用される側の障がい者（支援者）、双方が不安を感じていることから、こうした不安を軽減する場が必要である。
- ③ アンテナショップカフェを拠点に、関係者間の交流や連携をはかっていくことが重要である。

#### 4. 今後の取組

これまでの検討ふまえ、アンテナショップカフェにおいては、

- ① 障がい者の実践の場としてのカフェ機能
- ② 授産品の販路拡大につながるアンテナショップ機能
- ③ 企業と障がい者をつなぐ中間支援機能

の3つの機能を「柱」とするとともに、

- ① 県民総参加の取組
- ② 交流からネットワークへの発展
- ③ 障がい者のステップアップを実現する訓練プログラムの構築

の視点を取り入れ、カフェを活用した多様な取組を一体的に実施することで、

- ・ 緊張感のある体験による障がい者の成長
- ・ 目の前で商品が売れることによるモチベーションの向上
- ・ 障がい者の就職準備機能の強化

などの効果につなげ、「障がい者が当たり前前に働いていける」というような姿をめざします。



# アンテナショップカフェ検討にあたっての基本的な考え方

## ●『障がい者の雇用の状況』（実雇用率・ハローワークを通じての就労）に関するデータ分析

### 【データ分析】

- ◆実雇用率を全国中位に引き上げるため、毎年0.1%、約180名ずつ企業の障がい者を増やしていく必要がある。
- ◆三重県の特徴としては、規模の大きい企業での雇用が弱いことから、業種等を絞り込んでアプローチしていく必要がある。
- ◆業種別では、「医療・福祉業」、「生活関連サービス業」、「宿泊・飲食業」に強みがあり、「サービス業」、「金融・保険業」、「運輸・郵便業」に弱みがある。
- ◆平成24年度の就職状況では、「サービス業」、「金融・保険業」、「運輸・郵便業」等への就労が伸びていない。
- ◆地域別では、関係機関が連携し、独自で障がい者の就労につながる取組を展開している地域は、実雇用率が高い。

- ◆フロントヤードでの接客、調理、清掃など、障がい者が働いていくために必要な能力を身につける作業が詰まったアンテナショップカフェは、「宿泊・飲食業」、「生活関連サービス」の強みを伸ばし、「サービス業」、「金融・保険業」の弱みを克服するという要素を併せ持っている。
- ◆障がい者の就労を支援する取組（イベントやフォーラム）を進める地域においては、課題やその解決の方向性が共有され、地域での雇用につながっている。多くの企業や県民が参画するアンテナショップカフェを常設することで、同様の取組が進められ、障がい者雇用の推進につながる事が期待できる。
- ◆「取組（数値）目標」、「重点的な取組」を明確化し、アンテナショップカフェを中心に県民総ぐるみの取組を展開していくことが重要

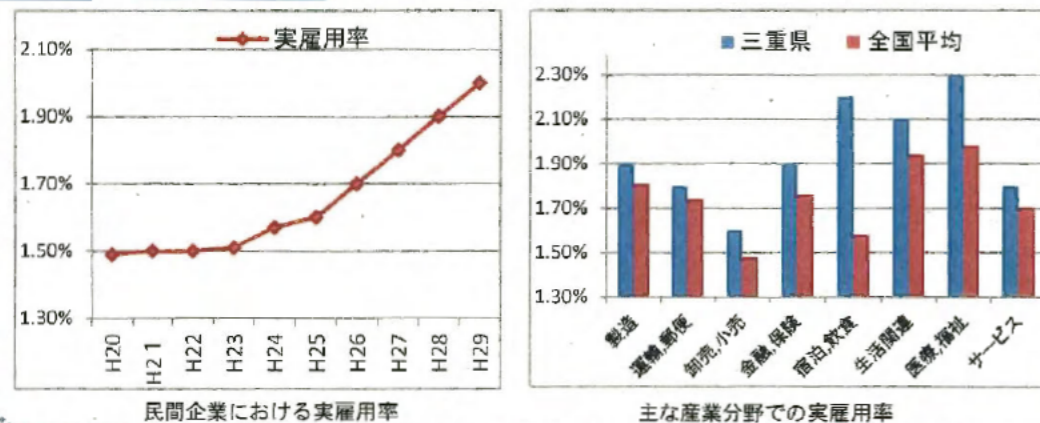
## ●『平成25年度障がい者雇用実態調査企業』（従業員規模3名以上の14000社を対象にした調査）の分析

### 【データ分析】

- ◆障がい者を雇用している企業は6社に1社の割合
- ◆業種別では、「医療・福祉業」、「サービス業」、「製造業」などの割合が高く、「金融・保険業」、「運輸業」などでの雇用が進んでいない。
- ◆障がい者を雇用していない理由としては、「障がい者のある方に向いている仕事がない」が約7割を占める。
- ◆業種別では顕著な特色はないが、事業所規模では、従業員規模の大きい企業ほど、「障がい者のある方に向いている仕事がない」という割合が低くなる傾向にある。
- ◆障がい者を雇用するにあたっての課題として、「社内に適当な仕事があるか」が約7割を占める。
- ◆障がい者を雇用している企業のうち、「障がい者雇用を継続または拡大したい」が約6割を占め、企業規模が大きい程、その割合は高い傾向にある。
- ◆障がい者雇用を進めるために必要な取組として、制度の活用等の回答が多いが、「障がい者雇用についての従業員の理解」、「取引先の理解」などを挙げた企業が25%ある。

- ◆障がい者は、6社に1社しか取り組んでいない状況で、アンテナショップカフェを通じての全体底上げが必要
- ◆今後必要な取組として、「障がい者雇用についての従業員の理解」や「取引先の理解」などを挙げた企業が約4社に1社あり、アンテナショップカフェを通じて、障がい者が戦力になることを発信していくことが重要。
- ◆規模の大きい企業における障がい者雇用はまだまだ進んでいないものの、今後の業務の切り出しや、雇用拡大等のポテンシャルは大きいことから、アンテナショップカフェを活用し、ターゲットを絞ってアプローチしていくことが重要。
- ◆障がい者雇用に積極的に取り組んでいる企業をアンテナショップカフェで顕彰するなど好事例として発信するとともに、企業間のネットワークづくりなどに取り組むことなどが重要。

### 5年後の目標（イメージ）



障がい者雇用率改善プラン(P→D→C→A)

今後5年間で、実雇用率全国中位、主な産業分野の実雇用率で全国平均を上回ることをめざす。

## ●検討にあたって障がい者を支える現場からいただいたご意見(カフェの機能等)

### 【現場の声】

#### 「障がい者の実践の場」の重要性

- ◆福祉作業内では経験できない緊張感のある実践的な実習により、障がい者の眼の色が変わってくる。
- ◆カフェには、障がい者の就労につながる、袋詰め、血洗い、計量などの多様な作業がある。
- ◆コミュニケーション能力、ビジネスマナーを含め、ステップアップできる実践の場により、働く意欲をかき立て、自信を得て、就労に向けての貴重な経験になる。

#### 「授産品が売れること」の重要性

- ◆障がい者が作った工芸品、加工品、雑貨類などを売ったり、展示したりするチャレンジの場が欲しい。
- ◆商品の販路拡大に関わる人材が不足していたり、商品開発のノウハウが十分でない。
- ◆地域の資源を活用した商品づくりなどにより、地域の担い手になることが、地域での障がい者雇用の理解につながる。

#### 「企業と障がい者訓練の場をつなぐこと」の重要性

- ◆障がい者の成長には準備の時間が必要。多様な体験によって作業性や社会性が向上し、就労・定着につながる。
- ◆企業と障がい者をつなぐ中間支援の場があることで、企業が安心して障がい者雇用に取り組むことができるのではないかと。

## ●カフェに盛り込む主な「機能」と「効果」

### 主な機能

- ①実践の場としてのカフェ機能
- ②販路拡大につながるアンテナショップ機能
- ③企業と障がい者をつなぐ中間支援機能

### 期待される効果

- ①緊張感のあるリアルな体験が障がい者の成長につながる
- ②目の前で商品が売れることが働くことのモチベーションにつながる
- ③障がい者の就職準備機能の強化につながる。

### (県内関連施設における主な先行事例)

- ・カフェでの多様な訓練により障がい者が軽減し、運輸関連企業への就労、保育関係の資格取得などに至った。(北勢地域事業所)
- ・農産物加工品について、商品のブラッシュアップを重ね、地元のレストランと商談が成立した。(北勢地域事業所)
- ・カフェで開催するイベントが地域に浸透し、交流や出会いの場として定着してきた。(北勢地域事業所)
- ・挨拶や時間管理がきちんできるとなり、多様な作業に積極的に取り組めるようになった。(伊賀地域事業所)
- ・毎日の売り上げを発表し、障がい者が原価計算をするなど、任せられることに自信を得て積極的に経営に参加するようになった。(南勢地域事業所)

## ●企業訪問等を通じていただいているご意見

### 【現場の声】

- ◆企業セミナーや研修に参加する企業は、いつも同じメンバー。新たに、障がい者雇用に取り組む企業にアプローチできないか。
- ◆働く障がい者は、身体障がい者しかイメージできない。知的障がい者や精神障がい者は、どんなことができるのか。
- ◆障がい者雇用には、施設の改善が必要であるという固定的な意識を感じる。
- ◆障がい者雇用の担当をしていて、企業内で相談できる相手がいない。ともに考え、行動する仲間ができるとうい
- ◆雇用率ナンバー1、2の県をめざして、障がい者をサポートする企業による地域貢献活動などを支援することはできないのか。(企業の声)
- ◆子ども将来に不安を感じる。「障がい者の就労は、受け入れ先が少なく「選べる！」という実感がない、そこしかないから行くという感じ。選べるようになってほしいんじゃないかなって感じます。(障がい者の親の声)

- ◆障がい者雇用を、県民や企業など多様なメンバーで考える場づくり、しくみづくりが必要。
- ◆雇用する企業だけではなく、雇用される障がい者の支援者も不安を感じている。こうした不安を軽減する場づくりに取り組むことなどが重要。
- ◆障がい者雇用を進めるにあたって、カフェを拠点にした関係者間の交流・連携が重要



## (4) 三重県海外ビジネスサポートデスクの取組状況について

### 1 設置の目的

県内企業の国際競争力向上と東アジアの経済成長を本県産業の発展につなげるため、県内中小企業の海外事業展開を、平成24年度から中国・上海、タイ・バンコク及び県内に設置して支援しています。

### 2 活動の状況

#### (1) 中国サポートデスクの取組

##### ①情報提供セミナーの開催(3回)

ア. 平成25年6月12日

『中国市場の可能性と最新マクロ経済事情』(津市)

イ. 平成25年9月11日

『中国経済の中長期的展望』(上海市)

ウ. 平成25年11月8日

『中国現地法人のトラブル事例と成功の秘訣』他(四日市市)

##### ②相談対応(4月から10月累計)

ア. 国内デスク相談件数

103件(内訳:新規進出等23件、輸出・輸入46件、その他34件)

イ. 海外デスク相談件数

51件(内訳:新規進出等7件、輸出・輸入1件、その他43件)

##### ③商談機会の創出

ア. 日中ものづくり商談会@上海(平成25年9月11日~12日)

出展県内企業10社、サポートデスクブースでの三重県PR

イ. 中国(成都)VIP顧客販路開拓イベント

(平成25年10月19日~20日)

出展県内企業3社

ウ. 日中ものづくり商談会@広東(平成25年11月21日~23日)

出展県内企業4社

##### ④実績

・自動車部品製造企業の上海への工場進出(1社)

・物流機器製造販売企業の新規輸入取引(天津)の開始(1社)

・中国(成都)VIP顧客販路開拓イベントにおける伝統工芸品の販売  
3社等

#### (2) アセアンサポートデスクの取組

##### ①情報提供セミナーの実施(3回)

ア. 平成25年6月12日

『ものづくり拠点としてのアセアン、市場としてのアセアン』  
(津市)

イ. 平成25年11月7日

『タイビジネスの強み』他(四日市市)

ウ．平成25年11月7日

『ベトナム投資環境と日系企業のケーススタディー』（四日市市）

②相談対応（4月から10月累計）

ア．国内デスク相談件数

51件（内訳：新規進出等18件、輸出・輸入22件、その他11件）

イ．海外デスク相談件数

40件（内訳：新規進出等10件、輸出・輸入6件、その他24件）

③商談機会の創出

マレーシアミッション（平成25年11月18日～19日）

環境関連リーディングカンパニーとの面談機会の創出

④企業のニーズ調査の実施とフォローアップ（9・10月実施）

県内企業1000社 回答165社

⑤実績

- ・食品加工企業のフィリピンへの販路開拓（輸入許可待ち）（1社）
- ・金型製造企業のベトナムへの販路開拓（1社）

### 3 課題と対応

（1）サポートデスクの認知度の向上

アセアンサポートデスクが県内企業1,000社に対して海外展開に対する関心度のアンケートを行ったところ、サポートデスクの認知度は、まだまだ低かったことから、商工会議所などの企業団体や地元企業に密着した金融機関等のネットワーク、及びそれらの行事を活用するなど、海外ビジネスサポートデスク事業のより一層のPRと県内企業の活用頻度の向上に努めます。

（2）きめ細やかな相談対応

企業の業種・業態や海外展開の経験度合い、目的などによって企業の求める情報の内容やレベルに違いがあることから、企業の海外事業展開のステップに応じて、的確に相談対応及びアプローチ方法を提案ができるよう、企業ごとの相談履歴などをまとめたカルテを作成して、フォローアップに活かします。



## (5) 首都圏営業拠点「三重テラス」について

### 1 現状（背景・課題）

#### (1) 「三重テラス」運営状況について

##### ① 来館者数について

(単位:人)

	9月	10月	11月	合計
ショップ	6,222	39,972	40,932	87,126
レストラン	309	3,213	3,327	6,849
多目的ホール	500	7,130	5,870	13,500
合計	7,031	50,315	50,129	107,475
一日当たり平均	2,344	1,623	1,671	1,679

##### ② 2階多目的ホールを活用したイベント等の開催状況について

###### 【主な展示会】

イベント等名	実施概要	開催日	参加者
オープン記念企画展 「お伊勢参りと遷宮」	「お伊勢参りと遷宮」をテーマとした資料や写真等の展示、DVD上映	9/29～ 10/13	5,150人
伊勢の今昔展	伊勢の古地図、今昔写真、お白石関連の展示	10/24～ 10/26	270人
～伊勢之国 伊賀之国 志摩之国 紀伊之国～地域 産品よりすぐり！展示会	「伊勢之国」「伊賀之国」「志摩之国」「紀伊之国」の4つのテーマで物産・観光PR展示、試食、実演	11/22～ 11/23	909人

###### 【主なトークイベント・セミナー・講座】

イベント等名	実施概要	開催日	参加者
丸ごとおいしい三重の食材「まごの店」 in NIHONBASHI	「まごの店」でがんばっている生徒が三重ゆかりの企業の協力のもと、おいしい「だし」の取り方を伝授	10/14 (2回)	61人
食べるパワースポット「伊勢うどん満喫講座」	伊勢うどんの魅力や基礎知識を学ぶ講座	10/15	36人
熊野古道セミナー	テーマ <第1回>「歩く旅『熊野古道伊勢路』の魅力」 <第2回>「人はなぜ熊野をめざしたのか」	10/16 11/20	51人 44人
みえミュージアムセミナー 日本橋	テーマ <第1回>「水族館に奇跡を起こしてまちづくり」 <第2回>「ブームに流されないお伊勢まいり」	11/1 11/15	42人 59人
知事トークライブ	片岡愛之助さんをゲストに迎えた三重の魅力のトークイベントと交流会	11/24	58人

###### 【商談会・相談会】

イベント等名	実施概要	開催日	参加者
尾鷲のさかな商談会	マグロやブリ等魚介類を都内飲食店と商談	10/20	30人
移住相談会	個別相談と田舎暮らしセミナー <第1回>三重と長野の合同 <第2回>三重と岐阜の合同	11/9,24	64人
南伊勢町物産見本市	南伊勢町の物産展示紹介と首都圏の事業者との商談会	11/25～ 11/27	65人

### ③ 商品選定状況について

オープン前までに約 1,400 商品の選定を行い、現在、「三重テラス」において、約 1,000 商品を販売しています。

なお、継続的に商品の掘り起こしを進め、11 月末日までに約 2,100 商品を選定しています。

## 2 成果指標等について

### (1) 指標設定の考え方

三重の情報を効果的に発信し、県内への誘客や県産品の販路拡大につなげていくという「三重テラス」の目的達成に向けた成果指標として、①来館者数、②商品開発や販路拡大につながった件数、③三重テラスサポート会員数、④メディア掲載件数を掲げ、数値目標の達成に向けて取り組んでいきます。

また、成果指標を補完するデータとして来館者や事業者の方々等へのアンケート調査等を実施し、運営業務の改善につなげます。

### 【指標項目例】

#### 指標 1 : 来館者数

##### (1) 来館者アンケート結果概要

- ・ 来館回数
- ・ 三重テラスを知った方法
- ・ 来館目的
- ・ 満足度（ショップ、レストラン、多目的ホールでのイベント）
- ・ スタッフ対応への評価
- ・ 三重県への来県経験・来県意欲 等

##### (2) アンケート等に基づく改善点

#### 指標 2 : 商品開発や販路拡大につながった件数

##### (1) 商品開発・販路拡大の事例

##### (2) 事業者アンケート結果概要

- ・ 満足度（商談会、テストマーケティング）
- ・ フィードバック情報への評価 等

##### (3) 商談相手事業者アンケート結果概要

##### (4) 取扱商品に関する消費者アンケート結果概要

##### (5) アンケート等に基づく改善点

#### 指標 3 : 三重テラスサポート会員数

##### (1) 会員アンケート結果概要

- ・ 満足度（ショップ、レストラン、多目的ホールでのイベント）
- ・ 三重県への来県状況・来県意欲
- ・ 三重をPRする活動の状況

##### (2) アンケート等に基づく改善点

#### 指標 4 : メディア掲載件数

##### (1) メディア掲載内容の傾向と評価

# 三重テラス2階 イベントスペース イベント実績 (H25年10月)

日	曜	実施時間	催し物名称	概要	対象	来場者数 (参考)	主催
							所属・団体名
9月29日 ～10月13日	日 (最終日)	10:00 ~ 20:00 17:00	三重テラスオープン記念企画展 「お伊勢参りと遷宮」展示	「お伊勢参りと遷宮」をテーマとした展示 vol.1「街道」～日本橋から三重へ～ vol.2 宮澤正明写真展「伊勢神話への旅」	一般	5,150	三重県営業本部担当課
5	土	14:00 ~ 15:00	三重テラスオープン記念企画展 「お伊勢参りと遷宮」トークイベント	「遷宮とデザイン」 講師：松井龍哉さん(ロボットデザイナー) 生駒芳子さん(ファッションジャーナリスト)	事前申込	54	三重県営業本部担当課
12	土	13:30 ~ 14:30	三重テラスオープン記念企画展 「お伊勢参りと遷宮」トークイベント	「神話を旅する」(予定) 講師：宮澤正明さん(写真家) 奥野勇さん(御遷宮対策事務局長)	事前申込	51	三重県営業本部担当課
14	月	10:00 ~ 12:00 14:00 ~ 16:00	丸ごとおいしい三重の食材「まごの店」 in NIHONBASHI	高校生レストラン「まごの店」でがんばっている三重県立相可高校の生徒が、三重ゆかりの企業のご協力のもと、おいしい「だし」の取り方を伝授します。	事前申込	61	三重県立相可高校 三重県営業本部担当課
15	火	19:00 ~ 21:00	食べるパワースポット「伊勢うどん満喫講座」～もっと太く！もっとやわらかく！	伊勢うどん大使であるコラムニスト・石原壮一郎氏が、伊勢うどんの魅力や基礎知識をレクチャーし、伊勢うどんは私たちに何を教えてくれるかを探ります。※伊勢うどん(東京では珍しい生麺タイプ)の試食付！！	事前申込	36	伊勢うどん友の会 三重県営業本部担当課
16	水	12:30 ~ 13:30	伊勢神宮から日本橋へ 伊勢街道ランニング 報告会	三重テラス開館と日本橋地域を盛り上げるため伊勢神宮から日本橋へランニングでつなぐ活動の実施報告会	一般	40	ランピック伊勢実行委員会 三重県営業本部担当課
16	水	14:30 ~ 16:00	松阪木綿キャラバン隊	松阪木綿を身に着けたキャラバン隊によるPR活動および松阪木綿(レンタル着物)の着付け体験	一般	5	松阪市観光交流課
16	水	19:00 ~ 20:30	熊野古道セミナー ～熊野古道世界遺産登録10周年に向けて～	テーマ「歩く旅『熊野古道伊勢路』の魅力」 講師：福元ひろこさん(文筆家)	事前申込	51	熊野古道世界遺産登録10周年事業三重県実行委員会
17	木	10:00 ~ 12:00	松阪木綿キャラバン隊	松阪木綿を身に着けたキャラバン隊によるPR活動および松阪木綿(レンタル着物)の着付け体験	一般	2	松阪市観光交流課
17	木	15:00 ~ 16:30	みえの国観光大使就任式	新しく観光大使に就任いただく方の就任式	関係者	30	観光政策課
17	木	18:30 ~ 21:00	企業懇談会	県内立地済み企業との意見交換会	関係者	20	企業誘致推進課
18	金	10:00 ~ 20:00	フディ	引礼展、企業参加及び企業協賛による津市の歴史・文化や産業・物産の紹介。美杉茶や健康飲料の試飲、「引礼」(複写)のプレゼントあり	一般	500	津市政策財務部東京事務所
19	土	14:00 ~ 16:30	あきんどの会	社会で中心的に活動する方とこれから就職活動をする学生が、採用を離れた場で交流し、学ぶトークイベント 講師：岡 仁さん(テレビ東京広報局宣伝部参事)	事前申込	35	女史会(白鳥) 三重県営業本部担当課
20	日	14:00 ~ 19:00	尾鷲のさかな商談会	三重県南部の尾鷲市から、世界最新技術「アルコールスラリー技術」搭載船のマグロや地元プリをはじめとする魚貝類全般について、都内飲食店対象の商談会を開催。	関係者	30	尾鷲商工会議所・まぐろ流通促進プロジェクト協議会・東紀州地域雇用創造推進協議会
～21	月	14:00 ~ 16:00	料理研究家 枝元なほみトークショー(尾鷲産まぐろ試食会)	「エダモン」の愛称で親しまれ、テレビ・雑誌等で活躍されている料理研究家の枝元なほみ氏のトークショー。(尾鷲市の魚食セミナーで、まぐろを使った色々なレシピを考案していただいています)	事前申込	50	
22	火	19:30 ~ 21:30	究極のお伊勢参り・出雲巡りクラス【第1回】	テーマ「現代に生きる私たちへ『神話』が問いかけてくること」 講師：木戸寛孝さん(国際NGO理事)	事前申込	24	鳥根県・奈良県・三重県連携 観光政策課
24 ～26	木 土	10:00 ~ 20:00 (26日は17:00終了)	伊勢の今昔展	10月27日の諸国往来市のプレイベントとして、パネル等の展示で伊勢の今昔から日本橋とのつながりを感じていただきます。(伊勢の古地図・伊勢の今昔写真・お白石関連の展示、DVDの上映等)	一般	270	伊勢市・伊勢市観光協会
24	木	19:30 ~ 21:30	究極のお伊勢参り・出雲巡りクラス【第2回】	テーマ「2013年5月と10月に同時に遷宮を迎えた伊勢と出雲の関係とは？」 講師：錦田剛志さん(万九千神社宮司、鳥根県神社庁参事・同研修所講師)	事前申込	24	鳥根県・奈良県・三重県連携 観光政策課
27	日	13:30 ~ 16:00	尾鷲商工会議所長期実践型インターンシップ報告会(相談会)	大学生のうちに経験しておきたい「インターンシップ」。注目されている「地域」に興味ある学生と、尾鷲で挑戦した学生との座談会。インターン経験が就活などその後の生活にどう活かされているかを検証します。	一般	54	尾鷲商工会議所 【連絡先】 0597-22-2611
～28	月	14:00 ~ 14:30	(事業報告)	* 27日は、長期インターンシップに参加された先輩方からいろいろなお話を聞く、ゆるやかな形の相談会。			
		14:30 ~ 15:30	(基調講演)	* 28日は、インターンシップ事業報告会やプレゼンテーション。			
		15:30 ~ 16:30	(インターンシップ生によるプレゼン)				
		16:30 ~ 17:00	(交流会)				

## 三重テラス2階 イベントスペース イベント実績 (25年11月分)

日	曜	実施時間	催し物名称	概要	対象	来場者数 (参考)	主催所属・団体名
11月	金	10:00 ~ 17:00	デイトリップ 僕らのみた海女のまち	武蔵野美術大学空間演出デザイン学科 小竹信節ゼミナルと連携し、「海女」をテーマにした芸術作品の展示	一般	212	鳥羽商工会議所
	1 金	18:30 ~ 20:00	みえミュージアムセミナー日本橋【第1回】	お伊勢参りの出発点としても縁がある日本橋で、伊勢をテーマにしたミュージアムセミナーを開催します。 テーマ「水族館に奇跡を起こしてまちづくり」 講師: 中村 元さん(水族館プロデューサー) ゲスト: 黛まどかさん(俳人) コーディネーター: 前田憲司さん(企画編集者)	事前申込	42	三重県生涯学習センター
	5 火	15:00 ~ 16:00	熊野学セミナー【第1回】	多彩な魅力を持つ熊野・東紀州地域の歴史や文化、自然、産業などを見つめ直し、学び研究していくことにより郷土観を確立し、地域活性化や地域づくりへとつなげていく「熊野学」のセミナーを開催します。	事前申込	59	熊野市商工振興課
		18:30 ~ 19:30	熊野学セミナー【第2回】	テーマ「熊野の食と祭り」 講師: 三石 学さん(みえ熊野学研究会研究員)			
	6 水	16:00 ~ 18:00	「松浦武四郎」セミナー	静嘉堂文庫美術館「松浦武四郎」展(10月5日~12月8日)開催を記念した講演会	関係者	48	静嘉堂文庫美術館 三菱商事(株) 中部支社
	7 木	13:00 ~ 19:00	販路拡大商談会	三重県内の事業者による食材などの商談会	関係者	30	三重県商工会議所連合会
	~8 金	10:00 ~ 16:00					
	9 土	12:30 ~ 16:30	三重・長野合同移住相談会	三重県と長野県が合同で移住相談会を開催します。県・市ごとの個別相談ブースの設置や田舎暮らしセミナーを実施します。(参加自治体: 三重県、尾鷲市、熊野市、長野県、安曇野市、茅野市)	事前申込	35	三重県南部地域活性化推進課
	10 日	13:00 ~ 15:00	三重を走って、飲んで、食べて知る会	丸の内の早朝セミナーで三重を学んだコアな三重ファンによる、東京で三重を満喫するコラボレーションイベント	関係者	28	朝大学ひじきチーム+ 萬古チーム・三重県営業本部担当課
	12 火	18:30 ~ 20:30	首都圏販路拡大商談会	首都圏に販路拡大をめざす事業者対象の商談会	関係者	19	三重県フード・イノベーション課
	12 火	19:30 ~ 21:30	究極のお伊勢参り・出雲巡りクラス【第3回】	伊勢・出雲の式年遷宮を記念して三重県や鳥根県全体の魅力と素晴らしさについて感じていただく体験型の講座	事前申込	21	鳥根県・奈良県・三重県連携
	13 水	18:00 ~ 20:00	外資系企業セミナー	外資系企業対象の三重県セミナー	関係者	70	三重県企業誘致推進課
	14 木	14:00 ~ 19:30	CONNECT-MIE!	首都圏での事業展開を希望する三重県の若手経営者等と首都圏の企業とのネットワークづくりを目的にビジネス交流会を開催します。 14:10~基調講演「三重の新たな魅力」 三重大学副学長 西村弘弘さん 15:40~三重県の経営者による事業プレゼンテーション 17:15~情報交換会	事前申込	53	三重県サービス産業振興課
	15 金	15:30 ~ 17:00	津市中勢北部サイエンスシティ分譲用地PR説明会	津市の産業拠点である中勢北部サイエンスシティの用地の早期完売をめざし、用地情報や奨励制度を始めとした様々な情報について、効果的かつ詳細に発信	関係者	23	津市商工観光部企業誘致室
	15 金	18:30 ~ 20:30	みえミュージアムセミナー日本橋【第2回】	お伊勢参りの出発点としても縁がある日本橋で、伊勢をテーマにしたミュージアムセミナー。 テーマ「ブームに流されないお伊勢参り」 講師: 式年遷宮記念せんべう館 石垣仁久さん(神宮司庫文化部主幹) 富宮歴史博物館 榎村寛之さん(学芸普及課長)	事前申込	59	三重県生涯学習センター
	16 土	10:00 ~ 18:00	つディ	津市の物産、観光、歴史・文化の情報発信、市内企業ブースによるPR等	一般	700	津市政策財務部地域政策課
	17 日	10:00 ~ 17:00	三重でキャリアアップしませんか ~若手医師を応援します~	ロボットスーツHALの装着体験、みえライフイノベーション総合特区の取組紹介、三重県内で活躍する若手医師や研修病院の紹介、若手医師へのキャリア形成支援の取組紹介	一般	320	三重県地域医療推進課
	~19 火	(19日は15時まで)	○三重県の医療分野の取組紹介				
	18 月	18:00 ~ 19:00	三重でキャリアアップしませんか ~若手医師を応援します~ ○パネルディスカッション	パネリスト: 田村憲久厚生労働大臣(予定)、仲眞美子川崎南部病院健康管理センター所長、内田淳正三重大学長、鈴木英敬三重県知事	事前申込	78	
	20 水	11:00 ~ 14:00	旅行商品説明会	三重県の観光トピックスや着地型旅行商品等の説明会	関係者	20	三重県観光誘客課
	20 水	18:00 ~ 20:00	熊野古道セミナー【第2回】	平成26年に世界遺産登録10周年を迎える熊野古道伊勢路の魅力をお伝えするセミナーを開催します。 テーマ「人はなぜ熊野をめざしたのか~熊野古道伊勢路の観音信仰と巡礼~」 講師: みえ熊野学研究会運営委員長 小倉 肇さん	事前申込	44	熊野古道世界遺産登録10周年事業三重県実行委員会 三重県東紀州振興課
	22 金	10:00 ~ 19:00	~伊勢乃国 伊賀乃国 志摩乃国 紀伊乃国~地域産品よりすぐり!	三重県を『伊勢乃国』『伊賀乃国』『志摩乃国』『紀伊乃国』の4つのテーマで物産・観光PRの展示、試飲・試食、実演	一般	909	三重県商工会連合会
	~23 土	10:00 ~ 17:00	展示会(仮称)				
	24 日	12:30 ~ 16:30	三重・岐阜合同移住相談会	三重県と岐阜県が合同で移住相談会を開催します。県・市ごとの個別相談ブースの設置や田舎暮らしセミナーを実施します。(参加自治体: 三重県、志摩市、尾鷲市、熊野市、岐阜県、恵那市、中津川市)	事前申込	29	三重県南部地域活性化推進課
	24 日	19:30 ~ 21:15	知事トークライブ	著名なゲストを迎え、知事が聞き手、時には語り手となって、三重の旬なヒト・コト・モノを語り合うトークライブと交流会の開催(第1回目ゲスト: 片岡愛之助さん)	関係者	58	三重県営業本部担当課
	25 月	13:00 ~ 18:00					
	26 火	10:00 ~ 18:00	南伊勢町物産見本市	南伊勢町の物産の展示紹介と、町内事業者と首都圏の物産取扱い事業者とが商談する場として開催する見本市です。	関係者	65	南伊勢町観光商工課
	27 水	10:00 ~ 15:00					
	29 金	10:00 ~ 18:00	玉城の日~熊野古道出立の地から~(仮称)	御遷宮、熊野古道ゆかりの玉城町のしめ縄、根付、擬筆紙の、「もの」だけでなく、歴史、人、物語を絡めた実演等	一般	1,300	玉城町産業振興課
	~30 土						
	29 金	18:30 ~ 20:30	みえミュージアムセミナー日本橋【第3回】	お伊勢参りの出発点としても縁がある日本橋で、伊勢をテーマにしたミュージアムセミナー。 テーマ「海と陸のネットワーク」 講師: 海の博物館 石原義剛さん(館長) 本居宣長記念館 吉田悦之さん(館長)	事前申込	26	三重県生涯学習センター

# 三重テラス2階 イベントスペース（25年12月～26年1月） イベントカレンダー

※11月21日現在のスケジュールです。

※イベント内容、日程等は変更されることがあります。

※名称は仮称のものが含まれます。

日	曜	実施時間	催し物名称	概要	対象	主催
						所属・団体名
12月1	日	13:30 ~ 15:30	東京おわせ会異業種交流会	首都圏在住の尾鷲市出身者による異業種交流会	関係者	尾鷲市長公室 【連絡先】0597-23-8134
4	水	19:00 ~ 20:30	「実はそれ、ぜんぶ三重なんです！」三重おかげさま講座【第1回】	三重への旅の魅力をお伝えする講座 テーマ「お伊勢参りが育んだもの」 講師：鎌田 道隆さん(奈良大学名誉教授)	事前申込	三重県観光キャンペーン推進協議会 【連絡先】059-224-2282
5	木	14:00 ~ 19:00	熊野フェア	熊野の食材の試食会や熊野学セミナー等を開催することにより、熊野市をPR	事前申込	熊野市水産・商工振興課 【連絡先】0597-89-4111 (内線472)
6	金	12:00 ~ 20:00				
7	土	10:00 ~ 16:00				
8	日	10:30 ~ 12:20	島根・三重連携講座【第1回】	島根県・三重県主催による記念講座 テーマ「考古学・古代史から見た伊勢・出雲」	事前申込 (終了)	島根県・三重県連携 ※定員に達しましたので募集は終了しました
		13:00 ~ 15:20	島根・三重連携講座【第2回】			
9	月	19:30 ~ 21:30	究極のお伊勢参り・出雲巡りクラス【第5回】	伊勢・出雲の式年遷宮を記念して三重県や島根県全体の魅力と素晴らしさについて感じていただく体感型の講座	事前申込 (終了)	県三重県営業本部担当課 ※定員に達しましたので募集は終了しました
10	火	13:00 ~ 22:00	三重県観光人交流会	三重県出身者、三重県の観光商品造成担当者など、三重県にゆかりのある旅行会社社員と、三重美学会員(県内の宿泊施設、観光施設、交通事業者等)とが交流し、三重についての知識を深めます。	関係者	三重県観光誘致推進協議会 (三重美学会)
12	木	11:30 ~ 14:30	【昼の部】三重の食材と日本酒のペアリング講座	三重県各地の日本酒と、それに合う様々な食材のペアリング(=食べ合わせ)を体験しながら、日本酒の入門知識と、食べ合わせに関する実践的な知識を学ぶ講座です。講座終了後には講師を交えた交流会も行います。(講座、交流会ともに有料) 【講師】手島麻記子さん(食文化研究者・日本酒スタイリスト)	事前申込	県三重県営業本部担当課 【連絡先】059-224-2411 ㈱アクアプランネット
		19:00 ~ 22:00	【夜の部】三重の食材と日本酒のペアリング講座			
14	土	14:00 ~ 16:00 (予定)	みえのスポーツ・まちづくり会議	スポーツを通じた地域の活性化について考える会議	関係者	県スポーツ推進課 【連絡先】059-224-2986
14	土	18:00 ~ 22:00	全国農業者連携フォーラム2013	全国の農業者が集い、地域で連携して新たな仕組みを作る取組みについて情報交換します。	関係者	みえ次世代ファーマーズmiel 【連絡先】059-231-9882
15	日	13:00 ~ 15:00	子どもの味覚教室	子どもを対象とした「味」の教室	関係者	一般財団法人 日本のこころSoul of Japan
16	月	19:00 ~ 21:00	女子力アップ三重講座【第1回】	グローバル女子のための「WAワークショップ」。三重県の食材や伝統工芸と組み合わせた新しい「和スタイル」の提案、実践をします。 講師：啓華さん(書家) テーマ「今年の年賀状は筆描きに挑戦！」	事前申込	県三重県営業本部担当課 【連絡先】059-224-2411
17	火	11:00 ~ 17:00	つディ	津市の物産&観光の紹介をメインに、歴史・文化の情報発信、市内企業ブースによるPR等を行います。	一般	津市政策財務部地域政策課 【連絡先】059-229-3277
18	水	19:00 ~ 20:30	熊野古道セミナー【第3回】	平成26年に世界遺産登録10周年を迎える熊野古道伊勢路の魅力をお伝えするセミナーを開催します。 テーマ「カメラを持って熊野古道伊勢路を歩こう」 講師：山本まりこさん(写真家)	事前申込 (終了)	熊野古道世界遺産登録10周年事業三重県実行委員会 県東紀州振興課 ※定員に達しましたので募集は終了しました
20	金	19:00 ~ 20:30	「実はそれ、ぜんぶ三重なんです！」三重おかげさま講座【第2回】	三重への旅の魅力をお伝えする講座 テーマ「私の熊野 神話の記憶」 講師：中上 紀さん(小説家)	事前申込	三重県観光キャンペーン推進協議会 【連絡先】059-224-2282
22 ~23	日 月	10:00 ~ 18:00	鈴鹿墨と書家のコラボ展 「鈴鹿墨な二日間」	国指定伝統工芸品「鈴鹿墨」を使った早稲田大学お抱え書家渡部大語氏の書作展示と工芸士による製墨実演。体験コーナーも設置します。	一般	鈴鹿市製墨協同組合 書道研究途上社 【連絡先】059-388-4053 (鈴鹿墨進誠堂)
25 ~1月6	水 月	10:00 ~ 20:00 (予定)	「式年遷宮諸祭 祈りの形」展(仮称)※年末年始は休業(詳細は三重テラスHP掲載)	南里空海さんの著書「伊勢の神宮 御装束神宝」のパネル展を開催します。伊勢の神宮の貴重な写真の数々をご覧いただけます。日本橋にいながら、その神聖な雰囲気を感じてください。	一般	県三重県営業本部担当課 【連絡先】059-224-2411 世界文化社

日	曜	実施時間	催し物名称	概要	対象	主催
						所属・団体名
1月9日	木	16:00 ~ 20:00	三重de働く in 三重テラス	首都圏に進学した三重県出身の学生を対象にUターンを促進する就職セミナー	一般	県雇用対策課 おしごと広場みえ 【連絡先】059-222-3300
14日	火	11:00 ~ 17:00	つディ	津市の物産、観光、歴史・文化の情報発信及び市内企業ブースによるPR等を行います。	一般	津市政務財務部地域政策課 【連絡先】059-229-3277
15日	水	16:00 ~ 18:00	実はこれ、ぜんぶ熊野なんです！熊野人による熊野自慢大会	紀南地域の地域資源を扱う事業者・個人(10事業者程度)が自らその魅力を紹介するとともに、簡単な体験や試食・販売を予定しています。同時に熊野の知られざる魅力を紹介する写真展・水彩画展も開催します。	一般	県紀南地域活性化局 【連絡先】0597-89-6105
15日	水	19:00 ~ 20:30	熊野古道セミナー【第4回】	平成26年に世界遺産登録10周年を迎える熊野古道伊勢路の魅力をお伝えするセミナーを開催します。 テーマ「熊野古道伊勢路の発掘と文化的価値～再生への取組～」 講師：三石 学 さん(みえ熊野学研究会研究員)	事前申込 (終了)	熊野古道世界遺産登録10周年事業三重県実行委員会 県東紀州振興課 ※定員に達しましたので募集は終了しました
24日	金	14:00 (予定) ~ 16:00	第1回全国海女文化保存・振興会議	海女漁の存続を文化財保護と水産振興の両面から考える会議を開催します。	関係者	県社会教育・文化財保護課 【連絡先】059-224-3328
24日	金	19:00 ~ 21:00	女子力アップ三重講座【第2回】	グローバル女子のための「WAワークショップ」。三重県の食材や伝統工芸と組み合わせた新しい「和スタイル」の提案、実践をします。 講師：茂木雅世さん(日本茶アーティスト) テーマ「急須のお茶を味わって、絵で表現！」	事前申込	県三重県営業本部担当課 【連絡先】059-224-2411
25日	土	13:00 ~ 16:30	『第9回伊賀学検定』受験対策セミナー	2月23日に開催する『第9回伊賀学検定』の受験者を対象とした対策セミナーです。講義終了後に、受講者交流の場としての懇親会を合わせて開催します。(セミナー、懇親会ともに有料) 【講師】 滝井利彰 (建築家・伊賀市文化財審議委員)	事前申込	上野商工会議所 【連絡先】0595-21-0527
26日	日	12:30 ~ 16:30	ええとこやんか三重 移住相談会	移住相談会を開催します。県・市町ごとの個別相談ブースの設置や田舎暮らしセミナーを実施します。(参加自治体等：三重県、尾鷲市、熊野市、鳥羽市、大紀町、南伊勢町、津市(美杉地域)、おしごと広場みえ)	事前申込	県南部地域活性化推進課 【連絡先】059-224-2195
26日	日	19:30 ~ 21:00	知事トークライブ	スペシャルゲストにみえの国観光大使「堀口文宏」さんをお迎えし、知事と堀口さんに自らの足で見つけた三重のディープで“旬”な魅力を語っていただきます。	事前申込	県三重県営業本部担当課 【連絡先】059-224-2411
27日	月	19:00 ~ 21:00	女子力アップ三重講座【第3回】	グローバル女子のための「WAワークショップ」。三重県の食材や伝統工芸と組み合わせた新しい「和スタイル」の提案、実践をします。 講師：花千代さん(フラワーデザイナー) テーマ「花や三重の自然を器に生けて表現！」	事前申込	県三重県営業本部担当課 【連絡先】059-224-2411
28日 ~29日	火 水	11:00 ~ 20:00 10:00 ~ 16:00	熊野古道世界遺産登録10周年記念イベント(仮称)	熊野古道世界遺産登録10周年を平成26年7月7日に控え、熊野古道伊勢路の魅力を広く知って頂けるように、古道や関係市町のパンフレットや古道の魅力をとらえた写真パネル等の展示を行います。	一般	東紀州地域振興公社 【連絡先】0597-23-3784
30日 ~2月2日	木 日	10:00 ~ 20:00 (初日は13時から、最終日は17時まで)	津商工会議所120周年記念事業「川喜田半泥子ゆかりの地”津”」(仮称)	津市出身の陶芸家・川喜田半泥子の作品展示、セミナー及び関連商品の展示等	一般	津商工会議所 【連絡先】059-228-9141

## (6) 関西圏での営業活動について

### 1 平成25年度の取組

関西圏において、三重県への観光誘客や食等の販路拡大につながるよう、県内市町、観光協会、商工団体等と連携し、大規模集客施設等を活用した営業活動、観光展・物産展への出展、マスコミへの情報発信、流通事業者とのネットワーク構築のほか、コアな三重県ファンの獲得等に取り組んでいます。

#### (1) 大規模集客施設等を活用した営業活動

ブランド力を持ち、認知度も高い施設、レストラン等での取組を通じて、マスコミへの露出や口コミ量を増やし、三重県食材の良さを関西圏の消費者、事業者に訴えていきます。

〔主な取組〕

- ・「グランフロント大阪」での食育プロジェクトへの参画  
(多気町、菰野町、伊賀市、東紀州地域振興公社、熊野市ふるさと振興公社)
- ・イオンモール堺北花田における「三重県フェア」の開催

#### (2) 三重の魅力を伝えるイベントの参画等

関西圏各地で開催される観光展、物産展等で、県内の市町、観光協会、商工団体等と連携し、三重の観光PRを行うとともに食等の魅力の体験を通じて、三重の旬の情報、イベント情報等をPRしています。

〔主な取組〕

##### ① 関西圏での大型イベント

- ・関空旅博(名張市、紀北町)
- ・神戸まつり(名張市)
- ・阪神甲子園球場での三重県観光キャンペーンのPR

##### ② 関西圏地域密着型イベント

- ・星愛七夕祭り(伊賀市観光協会、東紀州地域振興公社、津市)
- ・法善寺水掛不動尊表参道まつり(熊野市、東紀州地域振興公社)

##### ③ 他県と連携したイベント

- ・OAP桜まつり(島根県、伊勢志摩コンベンション)

##### ④ 交通機関、大型商業施設、マスコミと連携したイベント

- ・名張市観光キャンペーン(名張市、近鉄百貨店、近鉄)
- ・トラベルガールズフェスタ(サンケイリビング)

#### (3) マスコミを活用した情報発信

マスコミキャラバンやプレスツアーの実施のほか、在阪マスコミへ市町の旬の情報を簡潔にまとめたニュースレポートを常時発信する等きめ細かな情報提供に努めています。

#### (4) 流通事業者とのネットワークの構築

県内市町、商工団体等と連携し、有名百貨店、高級スーパー等に対する県産品の紹介に努めています。

〔主な取組〕

- ・大阪商工会議所主催「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」出展事業者の募集及び出展事業者への支援
- ・「みえセレクション」選定商品等県産品の紹介
- ・県内事業者の紹介、引き合わせ機会の設定

#### (5) コアな三重ファンの獲得

関西圏で三重県の存在感が増し、自主的に三重県を応援する団体・グループ等が形成されるよう取り組んでいます。

〔主な取組〕

- ・お茶大学出張講座「伊勢のかぶせ茶を楽しむ」（於：まちライブラリー@大阪府立大学）の共同実施

#### (6) 今後の営業活動

引き続き、三重県観光キャンペーンや熊野古道世界遺産登録10周年のPR等を展開し、三重の魅力を感じ、実際に三重にきていただくきっかけとなるようイベントや講座等を開催し、来年度の取組に繋げていきます。

- ・熊野尾鷲道路開通等をきっかけとしたドライブ観光のPR
- ・カリークリスマスイベント参加（伊賀忍者ビーフカレー等を出展）
- ・熊野古道セミナーを中心としたイベント開催を検討中

## 2 関西圏営業戦略（仮称）の策定

#### (1) 「関西圏みえの観光・ゆかりの店舗調査」や関西事務所の日常の営業活動で得た「生の声」などにより、三重の課題や関西圏におけるニーズ等の整理を行いました。

- ・観光地の地名等はある程度認知されているが、三重県全体のイメージが明確ではないこと。
- ・マスコミは関西圏を中心に取材・放送しているので、三重発の情報量が少なく、三重への心理的距離感があること。
- ・三重の観光地としてのイメージ、魅力では、伊勢神宮、海の幸、肉料理、お菓子の順で高いこと。
- ・目的別の訪問地としては、「宿でのんびり過ごす」「自然・景観鑑賞」とともに「地元の美味しいものを食べる」などで三重県が選択されていること。
- ・交通アクセスの伝達が不足していること。
- ・伊勢えび、松阪牛等はブランド力があるが、それ以外の産品はまだまだ高くないこと。 など



(2) これらの課題やニーズを踏まえ、関西圏における効果的な情報発信、観光誘客、食等の販路拡大にかかる今後の営業展開の基本的な方向性等をとりまとめた関西圏営業戦略（仮称）の策定作業を進めています。

○ 情報発信、観光・交通関係、流通等に関する有識者の方で構成する「関西圏営業戦略」（仮称）検討会議を設置し、ご意見をいただいているところです。

【検討会議メンバー】（50音順 敬称略）

加藤 司	大阪市立大学大学院経営学研究科教授
坂川弘幸	日本経済新聞大阪本社企画委員 関西ベンチャー学会文化観光研究部会幹事
田嶋雅美	㈱フランチャイズアドバンテージ代表取締役
中井政嗣	千房㈱代表取締役
矢尾 弘	近畿日本鉄道㈱鉄道事業本部営業企画部長

○ 11月29日に開催した検討会議において、いただいた主な意見は次のとおりです。

- ・効果的な情報発信については、一番の三重ファンである三重県人が関西圏の方々と更なるネットワークを構築することが重要ではないか。
- ・観光誘客については、他県との連携や関西を拠点とする歴史街道推進協議会等の団体との連携も深めていってはどうか。
- ・交通アクセスについて、近鉄沿線は便利と思われているが、東紀州についてもJRや南紀特急バス、高速道路等によるアクセスをもっとPRしてはどうか。
- ・食等の販路拡大には、生産現場をしっかりと見てもらうことが大切なので、バイヤー等を生産現場に案内してはどうか。

(3) 今後、検討会議で更にご議論をいただき、いただいたご意見を整理しながら、年度内を目途に「関西圏営業戦略」（仮称）をとりまとめます。

